



諏訪湖周クリーンセンター建設

ecoポップ通信

“ecoポップ”の見学に行こう！！工事現場見学会(第4回)開催

建築工事、プラント工事が進み、工場全体の姿が見えてきた「ecoポップ」の工事状況を見学できます。また、現場で使っている建設機械の試乗体験及び記念撮影ができますので、ぜひ、ご家族揃って直接会場までお出かけください。事前の申込は不要です。

日時：10月18日(日) 午前10時開始(1時間程度)

会場：やまびこ公園横の諏訪湖周クリーンセンター工事現場
(やまびこ公園第2、第3駐車場をご利用ください)

内容：・工事現場状況の説明及び見学
・建設機械の試乗及び撮影会(当日プリントして配布いたします)

※工事現場内での見学になりますので、汚れても良い服装と靴でご参加ください。
なお、小雨程度であれば予定通り開催しますが(カッパをご持参ください)状況次第で中止となることもあります。

私たちの生活から出るごみを処理する「ecoポップ」の仕組みを学ぼう！！

参加費無料！
お子様に記念品
プレゼント！

今回のプレゼントは、何かな??

ミニカー



オペレーターと一緒に
機械を動かしてみよう！



建設機械と記念写真 前回の見学会の様子

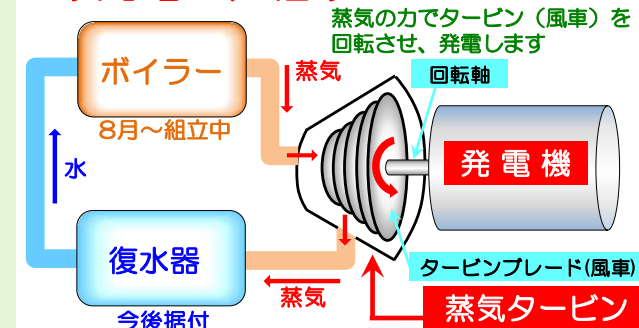


■蒸気タービン発電機を据え付けました！！

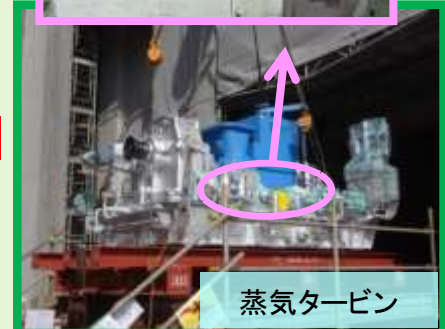
プラント工事では、ごみを焼却した際に発生する熱を電気に変える「蒸気タービン発電機」を設置しました。この装置は、先月から工事を行っているボイラーで発生した蒸気でタービン(金属製の風車)を回し、発電をするための設備です。「ecoポップ」の発電機は最大2,050kWの出力があり、クリーンセンターで使用する電力をまかなうほか、余剰電力を売電します。

建築工事では、地上部分の鉄骨建方やごみピットの地上5mまでのコンクリート躯体工事を行いました。プラント機械に続き、建物全体の姿も徐々に見えてきています。

ごみ発電の仕組み



発電量：約1500万kWh/年
(一般家庭約4,100軒分)
CO₂削減量：約5500t/年
(自動車の排気ガス換算で約2,400台分)



回転する力を電気にします。(自転車のライトと同じ仕組みです。)



■環境影響評価事後調査(平成26-27年度猛禽類調査)結果

現在建設中のecoポップ(諏訪湖周クリーンセンター)の工事中における環境への影響の有無を確認するため、昨年度に引き続き、環境影響評価の事後調査として猛禽類調査(2年目)を実施しました。(調査期間：平成27年1月～8月)

調査の結果、ハチクマのディスプレイ^(注1)、ノスリのディスプレイや餌運搬など、繁殖を示唆する行動が確認されました。特に、ノスリにおいては3箇所において営巣が確認され、全ての巣において繁殖が成功しました。また猛禽類の全確認飛翔数では、事後調査1年目(91例)ではやや減少していたものの、今回調査(231例)では増加し、環境影響評価時(152例)を上回る結果となりました。このように環境影響評価調査時と比較しても、確認例数、繁殖行動共によりよい結果が得られたことから、環境影響評価書段階で予測・検討した環境保全措置(「工事区域内に仮囲いを設置」「低騒音機械の使用」)により、工事に伴う猛禽類への影響は最小限に抑えられたと判断しました。今後も引き続き同様の保全措置を講じ環境への配慮を行なってまいります。

今回調査で確認した主な繁殖行動(過年度調査との比較)

種名	事後調査2年目 (平成26-27年度)	事後調査1年目 (平成25-26年度)	評価書段階調査 (平成24年)
ハチクマ 絶滅危惧IA類(VU) (注2)	・5月～8月に単独個体による羽ばたきディスプレイや餌の運搬行動を確認。特に6月には成鳥雄個体の腹部に抱卵痕が見られたが繁殖の確認はできなかった。	・5月に単独個体による羽ばたきディスプレイ等を確認。7月にも2例の飛翔を確認したが、繁殖の確認はできなかった。	・ディスプレイ、ペアによる巣内での止まりや巣材の積み上げを確認したが、途中放棄したことを確認。
ノスリ H16.3～H27.3 準絶滅危惧(NT) (注2)	・3月～4月に交尾やディスプレイ飛翔等の行動を確認した。 ・5月～6月に3箇所において営巣を確認するとともに、7月～8月に幼鳥の巣立ちを確認した。	・3月にペアの波状ディスプレイ及び4月に“そのう” ^(注3) が膨らんだ状態での餌運搬並びに6月に他個体への排斥行動を確認。 ・幼鳥が出現し、繁殖成功(繁殖巣は不明)。	・ペアによるディスプレイ及び交尾を確認。 ・幼鳥が出現し、繁殖成功(繁殖巣は不明)。
林内踏査	・平成24年及び25-26年調査において確認した17個の古巣のうち1個でノスリの営巣を確認した。それ以外の利用はなし。 ・新たに5個の巣及び古巣を発見し、うち2個でノスリの営巣・繁殖を確認した。	・平成24年調査において確認した、ハチクマ、フクロウの巣を含む12個の古巣はいずれも利用されていないことを確認。 ・新たに5個の古巣を発見したが、いずれも利用した痕跡はなく、調査範囲内において営巣の確認はできなかった。	・ハチクマ、ノスリ、フクロウなどが競合して古巣を利用している可能性あり(学識者ヒアリング結果)。

注1：誇示飛翔、示威飛翔。なわばりの占有宣言や、求愛など意思伝達を目的とした特別な飛翔

注2：長野県版レッドリスト(絶滅のおそれがある野生動物植物リスト)におけるカテゴリー。絶滅の危険度が高い順番に絶滅危惧I類(絶滅危惧IA類、絶滅危惧IB類)、絶滅危惧II類、準絶滅危惧に分けられる。ノスリは準絶滅危惧に分類されていたが、H27年3月の改訂によりリストから除外されている。

注3：消化管の食道あるいはのどの近くで、管壁が筋肉質になり膨らんだ形状になっている部分。食べたものを一時的に蓄えておくことができる。

現地で撮影した希少猛禽類の飛翔及び営巣状況



クマタカ(2月26日撮影)



ハチクマ(5月29日撮影)



ノスリ幼鳥(7月29日撮影)



ノスリ繁殖巣(5月林内調査)



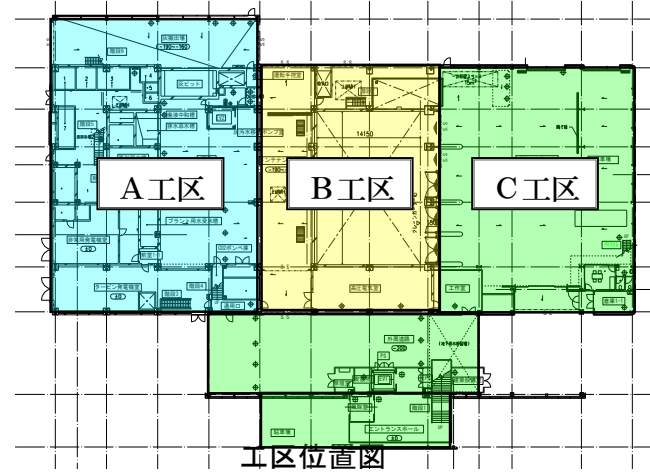
ノスリ繁殖巣(6月林内調査)



ノスリ繁殖巣(6月林内調査)

■工事進捗状況

工区	内容
A工区(プラント工事)	ボイラー、蒸気タービン発電機、飛灰処理設備工事 各所歩廊工事、配管工事、電気ラック工事
A工区(建築工事)	防水工事
B工区	鉄骨建方、ごみピット壁 鉄筋・型枠・コンクリート工事
C工区	鉄骨建方、床コンクリート工事



部屋に仮設のレールを敷いて搬入しました。



蒸気タービン据付状況

ごみを焼却炉内に押し込む装置です。



給じん装置 据付状況



排ガスに含まれる細かな灰を処理します。

飛灰処理設備 据付状況

地上約27mまで建方しました。



B工区 鉄骨建方状況



焼却炉室1階床のコンクリートです。

1階床コンクリート完成状況

■今後の予定

●●●10月の工事予定●●●

○建築工事

- ・A工区(炉室部分) 鉄骨建方工事、外壁工事
- ・B工区(ごみピット部分) 地上ごみピット壁工事
- ・C工区(プラットホーム、管理エリア)
鉄骨建方、各所コンクリート床工事

○プラント工事

- ・ボイラ組立工事、蒸気配管工事、各所歩廊、各所配管
電気ラック工事、非常用発電機据付工事



非常用発電機据付工事(イメージ)

■敷地全体状況

8月下旬時点



9月下旬時点



発行元 諏訪湖周クリーンセンター整備事業に関する工事等連絡協議会
 タクマ・岡谷組特定建設工事共同企業体 連絡先:78-7143
 株式会社岡谷組 連絡先:75-2679
 湖周行政事務組合(岡谷市役所内) 連絡先:23-4811(内線1443・1444)